

# 豊岡市「学校における働き方改革」推進方針

## (業務量管理・健康確保措置実施計画)

(2026年度～2029年度)豊岡市教育委員会

- 目標① 時間外在校等時間が月80時間超の教職員数をゼロにする。  
目標② すべての教職員の時間外在校等時間を月45時間以内にする。

※時間外在校等時間: 自らの判断に基づいて行う自己研鑽やその他業務外の時間、休憩時間を除く。

### 取組1 教職員の意識改革

○学校 ●教育委員会

- 勤務時間の明示
- 週1日以上「定時退勤日」と「ノー会議デー」、平日少なくとも1日、土日原則少なくとも1日以上「ノー部活デー」の完全実施
- 記録簿等を活用した在校等時間の記録
- 勤務時間の上限を意識した働き方の推進
- 年次休暇等の計画的取得や各種特別休暇の周知及び取得の促進
- 夏季休業中における学校閉庁日の設定(8月13日～8月15日)

### 取組2 業務の整理とマネジメント

- 「学校と教師の業務の3分類」を踏まえた業務の仕分けと精選
- 校内会議・校内研修・学校行事等の精選や開催方法(ペーパーレス会議、オンライン会議等)の工夫
- 勤務時間外等における留守番電話の活用
- 先進事例集(GPH200)の活用
- 地域行事、PTA活動等への参加の在り方についての検討
- 小学校プールの外部施設利用、インストラクターの派遣

### 取組3 ICT活用による業務の効率化

- 校務支援システム等を活用した校務・業務の効率化
- 研修会や会議のオンライン化
- GIGAスクール運営支援センターの設置
- ICT等により在校時間を客観的に把握・集計するシステムの導入の検討

### 取組4 「チーム学校」としての業務改善

- 学校事務職員の校務運営参画の推進
- 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)と地域学校協働活動の一体的推進
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門スタッフの配置
- 指導補助教員、特別支援教育支援員、校内サポートルーム支援員、事務補助員、外国語指導助手(ALT)、スクール・サポート・スタッフ、部活動指導員等の配置

### 取組5 制度・仕組みの見直し

- 学校への調査や依頼等の精選と合理化
- 学校給食費や学校徴収金の徴収・管理について、事務の統一化等による効率化
- 部活動地域展開の推進

### 取組6 執務環境の整備

- 風通しのよい学校づくり(ハラスメントのない職場づくり)の推進
- 健康診断、ストレスチェック等の受診による健康管理の徹底

### 【保護者・市民への理解促進】

教育委員会および学校は、「学校における働き方改革」の取組趣旨を広く保護者や市民に広報し、理解を促進するための啓発活動を行う。